ICT 通信
第10号

学びWEB中東

令和６年２月２２日（木）
足立区立中川東小学校
校長　豊田　純子
ICT 担当　前田　康介

さらに高めよう！
情報活用能力！！

情報活用能力の定義

世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力　（「小学校学習指導要領（平成２９年告示）解説」より）

具体的に考えると…

□情報を収集する力
□情報を整理したり比較したりする力
□情報を保存したり共有したりする力
□情報を発信したり伝達したりする力
□情報手段の基本的な操作スキル
□情報モラル
□情報セキュリティ
□プログラミング的思考　　など

情報活用能力は、情報自体や ICT 機器など情報技術を活用する力を指します。

タブレット端末等の基本的な操作スキルだけでなく、情報の適切な扱い方に関することやインターネット上のマナーなど、多岐に渡る能力や資質を意味しています。

実は…

新学習指導要領（平成２９年度告示）では、「学習の基盤となる資質・能力」の１つに『情報活用能力』と明記しています。『情報活用能力』は、汎用的なものであり、教科にかかわることなく、いつでも、これからも必要となる能力・資質なのです。

なんと…

中川東小学校では、これまでに子供たちの『情報活用能力』を様々な学習や活動の中で身に付けさせてきました。今後学び続ける子供たちの学習の基盤は、子供たちの中で着実に育っています。

例えば…

□情報を収集する力
→　５年生は、鋸南自然教室（宿泊学習）の事前学習として、鋸南町の自然や文化等のテーマを設定し、調べ学習に取り組みました。
多様な情報の中から、テーマに関連した情報を適切に収集し、まとめました。

どの学年でも、多岐にわたる「情報活用能力」をさらに高めています。

タブレットを活用した授業の実践例（６年生）

国語「伊能忠敬」の学習では、Google ドキュメントを活用して学習したこと（感想や気付いたこと・わかったこと等）を整理しています。

自分で考えて、
Google ドキュメントにまとめる時間
班の友達と意見交流する時間
活動にメリハリをつけながら

子供たちの感想…

□　書くのに一生懸命にならず、まとめることに意識を向けられた。
□　先生など、読んでもらう人がわかりやすいようにまとめることができた。
□　自分の思い通りに学習内容を整理することができ、まとめる力が身に付いた。
□　簡単に表を作成したり色付けをしたりと、学んだことをまとめることがさらに楽しくなり、学習意欲が高まった。

今回の授業で感じたメリットとデメリットです。

メリット	デメリット
○　表を容易に作成できる。 ○　文字の色を変えたり、下線部を引いたりなど、キーワードを容易に工夫することができる。 ○　言葉や語句の意味を、容易に調べることができる。	△　タブレット操作に慣れていないと、学習内容の整理に時間が掛かる。 △　漢字変換が容易のため、漢字の定着には繋がらないことが懸念される。
時間の大幅な短縮につながる！	***個人の操作スキルが大きく関わる！***

子供たちにとって、「調べるため」だけでなく、「発表するため」や「整理するため」など、今後も様々な形でタブレットを活用していきたいと思います。今回感じたデメリットを改善するための手だてについても、引き続き考えていきます。